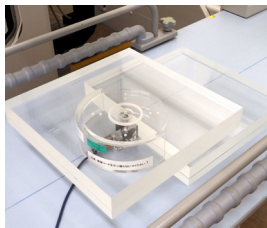
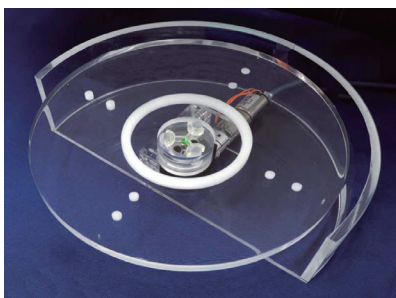


コードNo

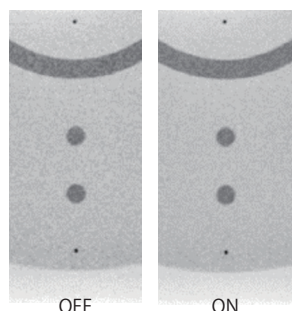
41949-000

※収納ケース付

監修・指導：駒澤大学 医療健康科学部 准教授 近藤啓介
昭和大学藤が丘病院 放射線技術部 技師長 佐藤久弥体厚設定用アクリル板を使用した撮影
(アクリル板は構成品に含まれません)

ノイズ低減処理 ON / OFF で画像比較

回転なし 画像比較

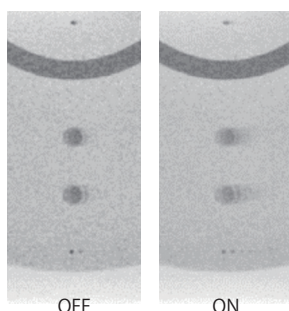


OFF

ON

ノイズ低減処理

回転あり 画像比較



OFF

ON

ノイズ低減処理

ファントムを回転させないで撮影してノイズ低減処理を行うと、背景のノイズが軽減され信号が鮮明に確認できます。より臨床に近い形にする為にファントムを回転させて撮影し、ノイズ低減処理を行うと信号に残像(ラグ)が発生し画質が悪化します。この動画特有の残像(ラグ)を解析、評価します。

ステンレス球の座標を基準にし、
信号の測定ROIが求められるので計測も簡単です

特 長

- IVRなど動画の撮影条件や画像処理パラメータの決定に役立つ、回転(毎分4回転)する円盤に信号を配置した動くファントムです。
- 撮影して画像を解析することで、動画特有の残像(ラグ)の解析やコントラストの変化が計測できます。
- 信号はコントラストの異なる4種類の信号があるので低コントラストの視覚評価に利用することも可能です。
- 測定座標を合わせるための金属球を配置しています。
- ImageJを用いた解析ソフトが付属しています。

仕 様

大きさ: W200×D185×H67mm
重 量: 855g
回転速度: 4回転/分

材 質: アクリル樹脂/エポキシ樹脂

電 源: AC100V 50/60Hz

消費電力: 10W

構 成

機構部

円盤ファントム

コード+アダプタープラグ

解析ソフト

収納ケース

取扱説明書

※体厚設定のための吸収、散乱アクリル板は構成品に含まれていません。



- 1 動画では止まっている信号ではなく、動く信号で評価しなければ、正しく解析できない。
- 2 ノイズ低減処理を正確に設定しないと被写体の残像が残り、ぼけが大きくなる。

従来の動かないファントムを使用した測定では、動画撮影の際に十分な解析を得られませんでした

残像評価用ムービングファントムなら!

動きのある信号を撮影することで、動画特有の残像やラグを解析し、コントラストの変化を正確に計測することが可能!

- 1 回転する円盤に載せた信号を利用し、動画撮影評価に必要な動きを再現できる。
- 2 IVRなどの動画の撮影条件や画像処理パラメータ(ノイズ低減処理など)の決定に有効。



付属ソフトで解析データを算出し、測定データをExcel等に貼り付けてグラフでの変異確認ができます。

More Information >

残像評価用ムービングファントム解説 PH-81

<https://youtu.be/JJzpkDYD0I8>

詳細はこちらの動画をご覧ください。



単位:mm

